

石原 美和 (実践教育センター、保健福祉学部、大学院保健福祉学研究科兼務)

1 著書

- 1) 川井太加子, 白井孝子, 石原美和他 (2022) 最新 介護福祉養成講座 8 生活支援技術Ⅲ第 2 版 第 2 章 10 節 内部障害 HIV による芽根季機能障害に応じた介護 p 146-157

2 学術論文

- 1) 石原美和, 徳永幸之 (2022), 療養通所介護事業所の開設状況と普及に向けた課題. 在宅医療連合学会学会誌 3(4) 10-17.
- 2) 作田竜一, 庄子真樹, 橋本陽介, 石原美和, 木村眞子. (2022). 農業分野における重度身体障害者による ICT 在宅就労の実証的検討 超短時間雇用と組み合わせたアプローチとして, 農業経済研究. 94(1), 43-48.
- 3) 石原美和. (2023), 療養通所介護事業の政策に関する実証的検証, 宮城大学事業構想学研究科博士論文.
- 4) 石原美和. 「看護がつなぐ医療とくらし」研究報告 (第 1 回) 訪問看護を利用して自宅で暮らしませんか? 東京財団政策研究所 HP 2023 年 1 月 12 日 <https://www.tkfd.or.jp/research/detail.php?id=4140>
- 5) Miwa Ishihara, Sanae Matsunaga, Ogusa Shibata, Rubana Islam, Ung-il Chung, A review of Japan's progress on dementia care in a superaged society and future challenges. Global Health & Medicine. (発刊中)

3 その他の著作

- 1) 松永早苗, 黒木利恵, 石原美和. (2022). 高齢者福祉施設等のスタッフが抱く感染対策への疑問, 神奈川県公衆衛生学会誌, 68, 34-35.
- 2) 藤谷順子, 石原美和他. (2022). 厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業 令和 3 年度総括・分担研究報告書「非加熱血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病など患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究」 p94-98.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所, 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 「AI (人工知能) ホスピタルによる高度診断・治療システム」倫理的法的社会的課題委員会(委員), 2021 年 4 月~2023 年 3 月.
- 2) 国立研究開発法人国立国際医療開発研究センター, エイズ治療・研究開発センターにおける客員研究員, 2021 年 4 月~2023 年 3 月.
- 3) 公益社団法人神奈川県看護協会, 将来構想策定委員会 (座長), 2020 年 8 月~2022 年 6 月.
- 4) 神奈川県 健康医療局 保健医療部 健康増進課, 保健師人材養成・確保に関する検討作業委員会(委員長), 2022 年 1 月~2023 年 3 月.
- 5) 神奈川県教育委員会, 神奈川県立二俣川看護福祉高等学校運営協議会(委員), 2021 年 4 月~2023 年 3 月.
- 6) 一般社団法人医療経済研究・社会保険福祉協議会・医療経済研究機構, 厚生労働省令和 4

年老人保健健康増進事業「介護保険制度の実施状況に係る全体像把握のためのツールを活用した研修プログラムの開発等に関する調査研究事業」検討委員会(委員), 2021年8月~2022年3月.

- 7) 特定非営利活動法人福祉フォーラム・ジャパン, 企画委員会(委員), 2021年4月~2023年3月.
- 8) 神奈川県 健康医療局医療課, 看護職員の確保資質向上推進委員会(委員), 2021年8月~2023年3月
- 9) 厚生労働省, 令和4年度厚生労働省老人保健健康増進事業 PwC コンサルティング合同会社 介護サービスの質の評価指標の開発に関する調査研究事業における検討委員会(委員), 2021年9月~2023年3月.
- 10) 東京財団政策研究所, 研究主幹, 「看護がつなぐ医療と暮らし」研究プロジェクトの取りまとめを担う, 2022年7月~2024年3月
- 11) 日本看護管理学会(評議員), 2022年10月~2023年3月.

5 社会貢献

- 1) 群馬県立県民健康科学大学大学院 博士後期課程 「看護政策特論」 6コマ (2016年4月~現在に至る)
- 2) 秋田大学大学院 博士前期課程 「看護政策論」 6コマ (2020年4月~現在に至る)
- 3) 日本赤十字北海道看護大学大学院 博士前期課程 「看護政策論」非常勤講師 2コマ (2021年11月~現在に至る)
- 4) 日本赤十字看護大学大学院 看護学研究科 博士前期課程 看護管理学特講Ⅱ 非常勤講師 1コマ (2021年12月~現在に至る)
- 5) 日本赤十字看護大学大学院 看護学研究科 博士前期課程 基礎看護学特講Ⅳ 非常勤講師 1コマ (2021年12月~現在に至る)
- 6) JICA タイ政策協力プロジェクト専門家意見交換に於ける助言・指導, 2022年11月8日

6 講演, 放送

- 1) 学内研究発表会 Web 開催. 「療養通所介護事業所の経済的評価に関する考察」, 石原美和, 大場紅莉, 2022年8月24日.
- 2) エイズ治療・研究開発センター25周年座談会「ACC とともに歩んだ道を振り返って」岡慎一, 安岡彰, 照屋勝治, 石原美和, 池田和子. 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター25周年記念誌 2022年9月
- 3) 朝日新聞 (朝刊) 取材記事 地域で活躍できる看護師養成 2022年4月1日

7 学会等での活動

- 1) 第10回日本感染管理ネットワーク学会学術集会, 学会発表 (掲示), 「感染管理の現場からのイノベーションの創出への取り組み」黒木 利恵, 松永 早苗, 石原 美和, 島岡 未来子, 2022年5月20日.
- 2) 日本環境感染学会総会・学術集会, 学会発表 (掲示), 「神奈川県における高齢者福祉施設等を対象とした感染予防スタッフ育成研修の報告」, 黒木利恵, 松永早苗, 石原美和, 2022年6月18日.

- 3) The 6th Japan-China-Korea Academy of Nursing, Conference Presentation (Oral), A Study on the Economic Evaluation of Skilled Nursing Day Care, in which the Manager is Designated as a Nurse. Akari Oba, Miwa Ishihara, 2022, Nov. 3.
- 4) 第 68 回神奈川県公衆衛生学会, 学会発表 (口頭発表), 「高齢者福祉施設等のスタッフが抱く感染対策への疑問」, 松永早苗, 黒木利恵, 石原美和, 2022 年 11 月 21 日.
- 5) 第 42 回日本看護科学学会学術集会, 学会発表 (口頭発表), 「療養通所介護事業の利用状況から見た看護師による中重度者マネジメントの経済的評価に関する考察」, 大場紅莉, 石原美和, 2022 年 12 月 3 日.
- 6) 日本ソーシャル・イノベーション学会第 4 回年次大会, 学会発表 (掲示), 「医療現場の困りごと解決のためのピックソン (ワークショップ) 開催報告」, 島岡未来子, 稲垣大輔, 松永早苗, 黒木利恵, 織田真理, 伊藤紗也佳, 石原美和, 鄭雄一, 西垣孝行, 大浦イッセイ, 2023 年 11 月 23 日.

8 学内教育活動

- 1) 保健福祉学部看護学科 2 年「看護関係法規」3 コマ
- 2) 保健福祉学部看護学科 4 年「看護管理学」1 コマ
- 3) 保健福祉学研究科 博士前期課程 保健福祉学専攻「看護管理学政策特論」2 コマ
- 4) 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル「ヘルスケアシステム論Ⅰ」2 コマ
- 5) 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル「統合演習Ⅰ」発表会 4 コマ
- 6) 認定看護管理者教育課程 セカンドレベル「ヘルスケアシステム論Ⅱ」1 コマ
- 7) 認定看護管理者教育課程 セカンドレベル「統合演習Ⅱ」実践計画発表会 4 コマ
- 8) 認定看護管理者教育課程 セカンドレベル「フォローアップ研修」評価者 4 コマ
- 9) 認定看護管理者教育課程 サードレベル「ヘルスケアシステム論Ⅲ」2 コマ
- 10) 認定看護管理者教育課程 サードレベル「統合演習Ⅲ」政策提言 8 コマ
- 11) 認定看護管理者教育課程 サードレベル「統合演習Ⅲ」政策提言発表会 2 コマ
- 12) 認定看護管理者教育課程 サードレベル「統合演習Ⅲ」実践報告会 4 コマ
- 13) 看護教育課程「研究発表会」4 コマ
- 14) 多職連携推進課程 「多職種で支えるヒューマンサービス」 2 コマ

9 学内各種委員会活動

- 1) 審査機関 自己評価・内部質保証審査会
- 2) 審査機関 内部質保証推進部会
- 3) 20 周年記念委員会
- 4) 倫理委員会 (臨時)
- 5) 実践教育センター 実践教育センター運営会議
- 6) 実践教育センター 実践教育推進委員会
- 7) 実践教育センター 企画調整会議

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 令和 4 年度~令和 5 年度 東京財団政策研究所 18,100 千円 「看護がつなぐ医療と暮

らし 在宅看護サービスへのアクセシビリティ向上のための政策研究」研究主幹：石原美和

- 2) 令和元年度～令和4年度 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 4,860 千円
「訪問看護ステーション等の地域における看護事業所の制度的基盤整備に関する研究」
主任研究者：石原美和
- 3) 令和3年度～令和5年度 厚生労働科学研究費補助金 23,000 千円「非加熱血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病患者の長期療養体制構築に関する患者参加型研究班」主任研究者：藤谷順子 分担研究者：石原美和（令和4年度 1,800 千円）「分担者課題名：HIV/AIDS 患者の精神健康と認知された問題の変遷—25年の縦断的研究—」
- 4) 令和4年度～7年度 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 3,650 千円
「感染症による偏見・差別をなくすヘルスリテラシー向上のための基礎的研究」主任研究者：松永早苗 分担研究者：石原美和 200 千円
- 5) 令和3年度～6年度 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 4,040 千円
「保健医療現場の動的な日常における患者の転倒転落を回避するレジリエントな実践の解明」主任研究者：田中孝美 分担研究者：石原美和 100 千円

12 受賞

- 1) 令和4年度神奈川県公衆衛生協会研究奨励表彰（協会賞），中村由佳，松永早苗，石原美和，2022年11月。

柴山 志穂美 (実践教育センター、保健福祉学部兼務)

1 著書

- 1) 柴山志穂美. 白澤政和. 岡田進一. 川越正平他, 2022年4月20日. 介護支援専門員現任研修テキスト第4巻主任介護支援専門員更新研修第3版, 看取りにおける看護サービスの活用に関する事例, 認知症に関する知識の修得・基本的理解, 入退院時等における医療との連家に関する事例, 中央法規出版株式会社, 06-132頁, 144-167頁, 178-194頁,
- 2) 柴山志穂美. 秋山昌江. 太田貞司他, 2023年2月20日. 介護職員初任者研修テキスト第1巻 介護のしごとの基礎 第4版, 医療との連携とリハビリテーション 2訪問看護 3施設における看護と介護の役割・連携. 中央法規出版株式会社. 170 - 175頁.
- 3) 柴山志穂美. 秋山昌江. 太田貞司他, 2023年2月20日. 介護職員初任者研修テキスト第2巻 自立に向けた介護の実際 第4版, 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護. 中央法規出版株式会社. 288 - 300頁.

3 その他の著作

- 1) 赤羽学, 大冢賀政昭, 山口佳小里, 中西康裕, 柴山志穂美, 西岡祐一, 次橋幸男. 令和4年度厚生労働科学研究費補助金(長寿科学政策研究事業) 医療および介護レセプトデータ分析による在宅医療・介護連携推進のための適正な評価指標等の提案のための研究報告書.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本老年学会将来計画委員会委員(令和元年8月～現在に至る)
- 2) 日本ケアマネジメント学会評議員(平成19年～現在に至る)
- 3) 日本ケアマネジメント学会第21回研究大会実行委員(令和3年6月～令和4年6月)
- 4) 日本ケアマネジメント学会理事(令和3年6月～現在に至る)
- 5) 日本ケアマネジメント学会学会誌編集委員(令和3年6月～現在に至る)
- 6) 日本ケアマネジメント学会選挙管理委員会委員(令和4年6月～10月)
- 7) 日本ケアマネジメント学会理事選挙管理委員会委員(令和4年12月～令和5年3月)
- 8) 一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構 認定介護福祉士養成研修認証委員会科目審査委員(平成28年～現在に至る)
- 9) 一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構 認定介護福祉士認定研修基準検討部会委員(令和4年～現在に至る)

5 社会貢献

- 1) 神奈川県訪問看護ステーション協会研修委員会オブザーバー(令和3年4月～現在に至る)

6 講演, 放送

- 1) 学研e-ラーニング講師, 褥瘡をつくらない介護の考え方教えます(令和4年4月～令和5年3月)

- 2) 公益社団法人埼玉県看護協会埼玉地域看護研修センター, 令和4年度埼玉県専任教員養成講習会講師, 専門領域別看護論演習「地域・在宅看護論」4時間(令和4年7月15日)
- 3) 船橋市主任介護支援専門員研修会講師, 「ファシリテーションの基本を知って主任ケアマネの実践につなげる」3時間(令和4年12月16日)
- 4) 公益法人日本看護協会看護研修学校, 2022年度認定看護師教育課程 認知症看護学科講師「認知症の人のケアマネジメント」2時間(令和4年9月16日)

7 学会等での活動

- 1) 日本ケアマネジメント学会第21回研究大会ナイトセッション座長(令和4年6月17日)
- 2) 日本ケアマネジメント学会第21回研究大会一般演題_認知症のケアマネジメント座長(令和4年6月18日)
- 3) 日本ケアマネジメント学会学会誌「ケアマネジメント学21号」投稿論文査読委員

8 学内教育活動

【実践教育センターでの教育活動】

- 1) 認定看護管理者養成課程セカンドレベル, ヘルスケアシステム論Ⅱヘルスケアサービスにおける多職種連携(4時間)
- 2) 多職種連携推進課程, 多職種で支えるヒューマンサービス論(4時間)
- 3) 多職種連携推進課程, 事例検討(22時間)
- 4) 多職種連携推進課程, 課程のまとめ(4時間)
- 5) 教員・教育担当者養成課程(介護コース), ヒューマンサービス論(4時間)
- 6) 教員・教育担当者養成課程(介護コース), 介護福祉学(1時間)
- 7) 栄養ケア・マネジメント課程, 栄養ケア・マネジメントの展開1_品質改善活動(4時間)
- 8) 実践教育センターにおける5課程8コース共通の授業評価の作成

9 学内各種委員会活動

【実践教育センター地域ケア教育部長としての活動】

- 1) 内部質保証点検ポートフォリオ基準3「特色ある教育研究の進展」に関する本学の取組みについて—大学の理念に基づいた継続教育の実践に関する取組み—執筆
- 2) 実践教育推進委員会委員
- 3) 実践研究推進委員会委員
- 4) カリキュラム検討部会部会長
- 5) 入試部会部会長
- 6) 感染管理認定看護師養成課程入試委員会委員
- 7) 感染管理認定看護師養成課程入試作問部会委員
- 8) 教員・教育担当者養成課程(介護コース)の科目編成主任

【保健福祉学部准教授としての活動】

- 9) 大学共通試験, 試験監督

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 令和4年度厚生労働科学研究費補助金(長寿科学政策研究事業)医療および介護レセブ

トデータ分析による在宅医療・介護連携推進のための適正な評価指標等の提案のための研究，(500 円万円，研究代表者一括計上) 研究代表者：赤羽学，研究分担者：大冨賀政昭，山口佳小里，中西康裕，柴山志穂美，西岡祐一，次橋幸男

- 2) 公益財団法人 太陽生命厚生財団 年度 2022 調査研究助成 (41 万円)，生活機能サマリーを活用した多職種協働による入退院支援ガイドラインの開発，研究代表者：柴山志穂美，研究分担者：大冨賀政昭，山口佳小里，坂田薫

12 受賞

- 1) 日本ケアマネジメント学会第 21 回研究大会一般演題発表優秀賞受賞，令和 4 年 6 月 19 日 (日) 日本ケアマネジメント学会第 21 回研究大会，退院時における生活機能サマリーの検討～ICF に準拠した情報活用に向けて～，○柴山志穂美，大冨賀政昭，山口佳小里，坂田薫

14 その他

- 1) 多職種連携推進課程のあり方に関する大学法人幹部 (理事長・学長・副学長・学部長) ヒアリング
- 2) 新規研修事業の企画，医療と地域生活をつなぐ多職種連携研修
- 3) 教育事業の組織横断的な見直し方針の提示
教育課程におけるカリキュラム見直し方針、講師選定方針を提示し、カリキュラム見直しを推進した
- 4) 中長期的な教育課程の見直し
実践教育部教職員へのヒアリングを実施し内容を分析した。センター幹部でのディスカッションによる意見を統合し、現任者教育の現状と課題を分析し、今後のあり方について資料作成した。
- 5) 教育事業のカリキュラムマップの検討
教育課程・教育事業全体の体系的な学びが可視化されるように、課程、研修のねらいや位置づけを再確認し、教育事業全体の構造化を目指して、カリキュラムマップの検討を行った。

松永 早苗 (実践教育センター 兼 保健福祉学部)

1 著書

- 1) 松永早苗. 多湖ゆかり編, (2022). ウイズコロナだからこそ伝えよう! 感染対策の新人研修教え方のワザ&使えるデータ集, ウイズコロナ時代に入職する医療従事者として心得ておきたいこと, INFECTIONCONTROL4. vol131. 2022, MC メディカ出版(67-70).
- 2) 松永早苗. (2022). 連載: 感染予防のチェック&アクション第3回施設における面会を再開していますか?, 介護人財教育支援教材, 日総研出版 (3-5).
- 3) 松永早苗. (2022). 感染界限 My Topics 感染症にまつわる偏見や差別, INFECTION CONTROL3, vol. 32, 2023, MC メディカ出版 (80-82).

2 学術論文

- 1) 松永早苗, 黒木利恵, 石原美和. (2022). 高齢者福祉施設等のスタッフが抱く感染対策への疑問, 神奈川県公衆衛生学会誌 第68号, 34-35.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本国際看護学会理事, 研究委員長 (2020～現在)
- 2) 特定非営利活動法人みやぎ感染予防教育推進ネットワークきれいな手理事 (2021～現在)
- 3) 独立行政法人国際協力機構青年海外事務局 JICA 海外協力隊技術専門委員 (2020～現在)
- 4) 独立行政法人国際協力機構・国際緊急援助隊感染症対策チーム (2016～現在)

5 社会貢献

- 1) 東北福祉大学健康科学部保健看護学科, 国際看護論「災害時の感染対策 青年海外協力隊の経験, 新型コロナウイルス感染症」を担当: 1コマ (90分授業).
- 2) 公立大学法人福島県立医科大学大学看護学部 国際看護学を担当: 15コマ (60分授業).
- 3) 神奈川県健康医療局医療危機対策本部のコロナクラスター対策チーム (C-CAT) として定期情報交換会やクラスター対策を実施した.

6 講演, 放送

- 1) Yokoyama, F., Matsunaga, S. Difficult Factors in Responding to Emergencies at Respite Care Facilities for the Elderly- from the Perspective of a care worker, 25th East Asia Forum of Nursing Scholars (EAFONS) Conference, Poster, 2022年4月21日.
- 2) 黒木利恵, 松永早苗, 石原美和, 島岡未来子. 感染管理の現場からのイノベーション創出への取り組みー現場のお困りごとを産官学連携で解決を試みる取り組みの中間報告ー, 第10回日本感染管理ネットワーク学術集会, 口演, 2022年5月21日.
- 3) 黒木利恵, 松永早苗, 石原美和. 神奈川県における高齢者福祉施設等を対象とした感染予防スタッフ育成研修の報告, 第37回日本環境感染学会総会・学術集会, ポスター, 2022年6月18日.
- 4) 松永早苗. 令和4年度社会福祉専門講座5 「施設内の感染症予防対策～冬季に流行する

感染症と新型コロナウイルス感染症」研修講師，社会福祉法人山形県社会福祉協議会山形県社会福祉研修センター主催，2022年7月7日。

- 5) 松永早苗. 2022年度国際看護学教育の質保証～看護基礎教育における国際看護学教育の授業展開～「感染症対策と国際看護」出前授業の講師，日本国際看護学会教育活動・研修委員会主催，2022年8月27日。
- 6) 松永早苗，塩野悦子. パンデミック発生時に国際支援を担う看護職の準備教育プログラムの開発，日本国際看護学会第6回学術集会，口演，2022年9月18日。
- 7) 松永早苗. 令和4年度介護サービス相談現任研修Ⅰ「高齢者の感染症予防と熱中症予防」研修の講師，特定非営利活動法人地域共生政策自治体連携機構主催(2022年10月25日)。
- 8) 松永早苗，黒木利恵，石原美和. 高齢者福祉施設等のスタッフが抱く感染対策への疑問，第68回神奈川県公衆衛生学会，口演，2022年11月21日。
- 9) 稲垣大輔，松永早苗，黒木利恵，織田真理，伊藤沙也佳，石原美和，鄭雄一，西垣孝行，大浦イッセイ，島岡未来子. 医療現場の困りごと解決のためのピックソン（ワークショップ）開催報告，日本ソーシャル・イノベーション学会第4回年次大会，2022年11月27日。
- 10) 松永早苗. 一般社団法人感染防止教育センター研修「災害時に持続可能な感染対策」研修講師，一般社団法人 感染防止教育センター主催，オンデマンド配信研修。
- 11) 松永早苗. 令和4年度看護学科国際交流セミナー「パンデミック発生時に国際支援を担う看護職の役割」講師，山形大学 看護学科国際交流委員会・看護学専攻部会合同開催，2022年12月14日。
- 12) 松永早苗. 「令和4年度宮城県災害派遣福祉チーム員養成スキルアップ研修」講師，宮城県災害福祉広域支援ネットワーク協議会事務局主催，オンライン開催，2023年2月24日。
- 13) 松永早苗. タイ受入研修プログラム「感染看護」講師，高崎健康福祉大学主催，オンライン開催，2023年3月2日。

7 学会等での活動

- 1) 日本国際看護学会理事，研究委員長（2020年10月～現在）として，学会の運営並びに学会員の研究を支援する活動を実施した。また，2023年4月に一般社団法人へと移行する準備を進めた。
- 2) 日本国際看護学会6回学術集会実行委員として，日本国際看護学会第6回学術集会の企画と運営を行った。
- 3) 日本国際看護学会第7回学術集会準備委員会として，日本国際看護学会第6回学術集会の準備を行った。
- 4) 特定非営利活動法人みやぎ感染予防教育推進ネットワークきれいな手の理事（2021年～現在）として，宮城県における地域の感染対策を支援する活動を実施した。主に事務局を担当し，会員からの問い合わせへの返答や研修の運営を行った。
- 5) 第42回日本看護科学学会学術集会国際看護演題の座長を務めた。（2022年12月3日）

8 学内教育活動

- 1) 感染管理認定看護師教育課程，感染管理学と相談（医療関連感染の予防と管理に関する施設内外での指導，指導計画の立案と評価，指導の 実際）12時間（1時間45分換算）

ファシリティマネジメントの原理と原則（9時間）、学内演習（感染防止技術プログラム立案，医療関連感染サーベイランス計画立案，感染防止技術プログラム立案，職業感染予防プログラム立案，感染管理指導プログラム立案，洗浄・消毒・滅菌とファシリティマネジメントプログラムの立案，医療関連感染・管理プログラム発表会の実施）（45時間），臨地実習学内演習（12時間），臨地実習（180時間：20日間）を担当した。

- 2) 研究入門講座，研究入門の Step1 の講義（4回コース），Step2 の講師（対面のデータ処理）を運営した。令和5年度に向けて新規講座の研究チャレンジ講座を企画した。
- 3) 令和4年度神奈川県プロポーザル委託事業：高齢者福祉施設等感染予防リーダー育成研修のプロポーザルへの応募，研修計画，立案，実施を行った。その後，高齢者福祉施設等感染予防スタッフ研修会の運営を行った。
- 4) 大学院保健福祉学研究科の令和5年度の入学者面接官を担った。保健福祉学研究科看護開発学のシラバスの検討を行った。

9 学内各種委員会活動

- 1) 実践研究担当課長の役割：実践教育センターの研究事業について推進を進めた。実践教育センターにおける教職員の研究活動を推進する取り組みを実施した。
- 2) 研究活動部会の運営：適宜会議を開催し，実践教育センターの教職員が研究成果を発表する研究成果共有会を2回実施した。計6名の教員が研究活動，教育活動を発表した。教職員の科研費取得に向けて支援を実施した。研究に関連する実践教育センターの取り組みを，ホームページで適宜紹介した。学生，教職員が研究に関する悩みや発表の相談が行える場として『リサーチカフェ』を4回実施した。3月末には，教職員や学生が集い研究や学習に使用できる『リサーチコモンズ』を整備した。
- 3) FD部会の運営：教職員の教育の質を向上するためにFDの企画と運営を行った。カリキュラム改正を考えた内容とし，外部講師を招いての研修会2回，本学の理事長を招いて実践教育センターの将来構想を考える会1回，計3回のFDを実施した。
- 4) カリキュラム部会：新規カリキュラムの構築に向けて部会員として意見交換を行った。
- 5) ヘルスイノベーション研究科との共催ワークショップの運営，ヘルスイノベーション研究科とNPO法人まもるをまもると協働し，「ヘルスケア領域の困りごとを解決する」ピクタソンのワークショップを2回開催した。
- 6) 感染管理認定看護師養成課程の入試委員会，教員会等の運営を行った。
- 7) 国際交流活動として JICA タイの現任教育プロジェクトについてプロジェクトメンバーと意見交換を行った。

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 令和2年～令和6年 独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究C，3,900千円（直接経費：3,000千円，間接経費：900千円），研究課題：「高齢者ショートステイにおける急変時対応スキル育成のための基礎的研究」主任研究者：横山詞果，分担研究者：松永早苗。
- 2) 令和4年7月～令和6年3月 公益財団法人東京財団政策研究所研究助成（1810万円）研究課題：「看護がつなぐ医療と暮らし 在宅看護サービスへのアクセシビリティ向上のための政策研究」研究主幹：石原美和，主席研究員：松永早苗，渡邊千登世。

- 3) 令和4年～令和7年 独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究C, 3,640千円(直接経費:2,800千円,間接経費:840千円),研究課題:「感染症による偏見・差別をなくすヘルスリテラシー向上のための基礎的研究」主任研究者:松永早苗,分担研究者:石原美和.

12 受賞

- 1) 令和4年度神奈川県公衆衛生協会研究奨励表彰(協会賞),中村由佳,松永早苗,石原美和. 研究テーマ:A保育所における新型コロナウイルス感染症対策マニュアルの検討,2022年10月.

14 その他

- 1) 独立行政法人国際協力機構青年海外事務局・JICA海外協力隊技術専門委員として派遣隊員の選考に関わった.